

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【公表番号】特表2009-529219(P2009-529219A)

【公表日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2009-032

【出願番号】特願2008-558195(P2008-558195)

【国際特許分類】

H 01 M	4/62	(2006.01)
H 01 M	10/052	(2010.01)
H 01 M	10/0525	(2010.01)
H 01 M	4/131	(2010.01)
H 01 M	2/16	(2006.01)

【F I】

H 01 M	4/62	Z
H 01 M	10/00	1 0 2
H 01 M	10/00	1 0 3
H 01 M	4/02	1 0 2
H 01 M	2/16	P
H 01 M	2/16	L

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月5日(2011.10.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有機アンモニウム化合物がカソードに添加され、及び／又はセパレータに塗布された、カソード活物質としてリチウム遷移金属酸化物を含み、

前記有機アンモニウム化合物が化学式(I)によって表される化合物から選択された一つ以上の化合物である二次電池：

R₁-C O₂⁻(NH₄)⁺(I)

ここで、R₁は(i)アルキル基、(ii)アリール基、又は(iii)ヘテロ環で置換されたアリールである。

【請求項2】

前記有機アンモニウム化合物は、安息香酸アンモニウム及び／又は安息香酸アンモニウムピリジンである、請求項1に記載の電池。

【請求項3】

前記有機アンモニウム化合物がカソードスラリー調製の間カソード活物質と共にカソードに添加されるか、又は集電体に塗布されたカソード活物質へのコーティングの形態で添加される、請求項1に記載の電池。

【請求項4】

カソード混合物の全重量に基づき0.01から10重量%の有機アンモニウム化合物が添加される、請求項1に記載の電池。

【請求項5】

セパレータの全重量に基づき0.01から10重量%の有機アンモニウム化合物がセパ

レータの表面上に塗布される、請求項 1 に記載の電池。

【請求項 6】

前記カソード活物質がリチウム遷移金属酸化物であり、前記アノード活物質が炭素材料からなる、請求項 1 に記載の電池。